

□第11期 第4回 外国人市民会議のまとめ

〔日にち〕 令和8年（2026年）6月1日（月曜日）

〔時間〕 19時から20時30分

〔会議をした場所〕 とよなか国際交流センター 会議室2B

〔会議に出た人〕

委員：AVDIUSHENKOVA IRINA 委員、OZTURK ORHAN 委員、RIDZUAN NADIA 委員、魏 群委員、
金 喆鎬委員、沈 敏茜委員、張 紅梅委員

事務局：山口市民協働部理事、本田人権政策課長、村上副主幹兼係長、橘田、環境部家庭ごみ事
業課清原主査

〔会議で話した内容〕

案件1. 第3回目の会議の振り返り

→ 資料1『第3回目会議録』を使って、会議をする目的、構成について説明しました。

案件2. 自分の国でのごみの出し方について

→ 自分の国のごみの出し方や、日本と違うところなど、ごみを出すときに困ることについて話し合いをしました。

<会議で出た意見>

【ロシア】

家の近くにある大きいごみ箱にごみを捨てる。

ごみを捨てるのにお金はかからないし、指定のごみ袋もない。分別も義務ではない。

また、いつごみを捨ててもよく、捨てられている物は拾ってもよい。

【中国】

・大都会以外はごみの分別は厳しくなく、基本的に自由。上海が一番厳しい。

・私の故郷は中国江蘇省の太倉市で、太倉市では、2018年から生活ゴミの分別制度が導入され、2020年から本格的に実施された。家庭から出る生活ゴミは、主に「可燃ゴミ」、「生ゴミ」、「資源ゴミ」、「有害ゴミ」などにわけて出す。住宅地には分別用のゴミ箱が設置され、住民たちは決められた場所、時間帯でゴミを出すようになっていてゴミ袋の指定はない。

・子どもの時からごみの分別の意識がなく育った。

【トルコ】

トルコではリサイクルの考えが強く、捨てるより売る。

不要になったものは、生活に困っている人に安く売る。

また、ロシアと同じように屋外に大きなごみ箱があり、そこにごみを捨てる。

昔はいつ捨ててもよかったが、においがひどいため今は捨てる日が決まっている。

【マレーシア】

ごみは何時でも捨てることができる。

ごみ収集の日も決まっていない。

【韓国】

生ごみの捨て方が日本とは違う。生ごみは専用のごみ袋に入れて捨てる。

また、入れたごみの重さで金額が違う。

マンション等では各家庭にカードが配布され、そのカードでごみ処理料金の支払いをする。

案件3. ごみの分け方・出し方ガイドについて

→ 資料2『ごみと再生資源の分け方・出し方早わかりガイド』を使って、分かりにくいところや、直してほしいところについて話し合いました。

<会議で出た意見>

- ・ごみカレンダーと一緒にごみの分け方・出し方ガイドも配布してほしい。
- ・とても分かりやすいと思う。冷蔵庫に貼っておき、ごみを捨てるときは確認するようにしている。
- ・とても見やすいと思う。

案件4. ごみの問題について市にしてほしいこと

→ イベントなど市にしてほしいことについて話し合いました。

<会議で出た意見>

- ・とよなか国際交流センターでの日本語教室の前後の時間にごみ捨てのルールの説明をすると良いと思う。特に粗大ごみの捨て方がややこしい。

- ・イギリスではどんな古いものも捨てない。生活に困っている人に安く売る。
日本も同じようになれば良いと思う。
- ・知りたい情報だけを聞いたら教えてくれる豊中のチャットボットアプリがあれば便利だと思う。
ごみや健康のことなどの情報がすぐに分かると良い。

案件5. その他

→ 次の会議の日にちについて説明しました。